

■米国：アップル社、新社屋の電力を太陽光発電で供給

2017年2月22日付の米アップル社の発表によると、カリフォルニア州クパチーノで建設中のアップル・パークは、世界最高水準の省エネルギー性能を達成しており、敷地内の新社屋を含めたパーク全体で使用する電力100%を再生可能エネルギーで供給する。本社屋上には容量1万7,000kWの太陽光パネルが設置され、太陽光による自家発電設備としては世界最大レベルである。アップル・パークの総面積は70万8,200m²、社員1万2,000名以上が働く計画である。